

多文化関係学会 2021年度 第2回理事会 議事録

日時：2021年8月14日（土）11.00-13.00

場所：オンライン（zoom ミーティング）

出席者：

田崎勝也、田中真奈美、笠原正秀、石井英里子、申知元、岡部大祐、渋谷百代、内藤伊都子、馬場智子、叶尤奇、宇治谷映子、小林浩明、河野康成

欠席者（委任状あり）：

伊藤明美、小坂貴志、畠中香織、江藤由香里

（敬称略・順不同）

1. 報告事項

1) 第20回大会運営委員会からの報告（大会準備委員長 田中真奈美）

- 全国大会ウェブサイトにも簡易スケジュールを掲載した。お盆明けに会員にお知らせをする。
- ゲスト講演者として奥井利幸氏（野毛坂グローバル代表）を招聘することとした、ウェブサイトにも情報を掲載済みである。
- 全国大会での発表申し込みに対する査読水準が年次大会ごとにばらつきがあることがわかった。査読ガイドラインの整備を検討している。

2) 事務局からの報告（事務局長 石井英里子）

- 会員会費管理のためにウェブ・サービスを検討したいと考えている（→ 審議事項へ）。
- 新規会員数→前回理事会から正会員1名、学生会員1名が新規に入会し、会員数が合計で255名となった。

3) 地区研究会委員会からの報告

北海道・東北地区研究会より（地区研究会委員長 馬場智子）

- もう1回くらい研究会できないかと会員より要望はあり。秋に全国大会があり難しい状況であるが、検討中。

関東地区研究会より（地区研究会委員長 叶尤奇）

- 9月25日13:30-15:00研究会実施予定、お盆明けにメーリングリスト、ウェブで情報発信を予定している。形式はオンラインでの実施を予定。

関西・中部地区研究会より（地区研究会委員長 宇治谷映子）

- まだ具体的な形とはなっていないものの、企画を進めている。

中国・四国地区研究会より（委員長 江藤由香里）

- 委員長欠席のため報告なし。

九地区研究会（地区研究会委員長 小林浩明）

- 今年度の企画は今のところはない。地区会員と検討を進めている。

4) 学会誌編集委員会からの報告（学会誌編集委員長 渋谷百代）

1) 現在、学会誌18巻の準備中

- 投稿は論文が10件、研究ノート3件。うち、論文は2件について取り下げあり。残り8件のうち、大学院生から3件。
- 編集作業は予定通り進んでいる。判定査読の結果待ち1件、他は再査読が3件、月末に回答予定。委員会判定の査読2件は掲載の見通し、他は難しい手応えではある。
- 掲載が見込めるものについては、テンプレートを使って修正原稿を出してもらおう。ただ、テンプレートを使っているのに書式が揃っていないという現状がある。インターボックスにはPDFで入稿、細かな書式のチェックはない。アルバイトにお願いするのか、あるいは別の方法で対応

して入稿した方がいいのか、委員会で検討中である。

2) 全国大会で学会誌投稿に関わるワークショップを予定（1日目の夕方）

- 編集委員が関西地区在住が多く、大会参加がオンライン参加になると想定される。ワークショップをどのような形でやるかは検討中である。
- 内容としては、学会誌投稿に関わる変更点の概要、投稿ジャンルの新カテゴリーの説明、実践報告の説明（田中真奈美先生より）、編集サイドから見た投稿論文、質疑応答などを考えている。

5) ニュースレター委員会からの報告（ニュースレター委員長 内藤伊都子）

- 次号発行は年明けを予定している。全国大会の特集となるため、理事会メンバーには原稿依頼案を後日送付する予定である。また、大会準備委員会には、メンバーへ原稿執筆の割り当てや写真についても依頼する。地区研究会も同様。

6) 財務委員会からの報告（財務委員長 申知元）

- 大きな支出が2件あり。ひとつは事務代行、もうひとつはウェブサイト運営・管理。
- 前期分の領収書については、9月末までをお願いしたい。

7) 学術連絡委員会からの報告（副会長 笠原正秀）

- 主に、20周年記念事業や全国大会準備を中心に3回議論してきた。9月4日に委員会実施予定。全国大会前にも。新規投稿論文カテゴリーなどについても話し合っていく予定である。

8) 学術委員会（20周年記念事業）からの報告（学術委員長 岡部大祐）

1) 20周年記念事業・記念出版

- 執筆予定者が決まり、7月17日に執筆者へ説明会を実施した。希望者に

は、8月18日にフリー・セッション（質疑応答や情報共有など）を予定している。

2) 全国大会での20周年記念事業・連続シンポジウム（3年目）

- 企画案を策定し、学術連絡委員会からのフィードバックを経て、改定中である。8月末までにおおよその概要を完成予定である。

3) 石井奨励賞

- 今年度は、5件の申し込みあり。審査員の選定、打診はこれから行う。

9) その他

なし

2. 審議事項

1) Webサイト等リニューアル委員会設置について及び審議案件（会長 田崎勝也）

- 審議事項1：ワーキンググループを結成し、本件について検討してきた。ワーキンググループから正式な委員会として設置したい。
→上記委員会の設置が承認された。委員長には、河野康成先生が就任することとなった。

※ウェブサイトのリニューアルは、2種類あり、それぞれ業者が異なる。

- 1) 大元の学会ウェブのリニューアル
- 2) 会員専用サイトのリニューアル

- 審議事項2：会員専用サイトでの、会員の研究対象分野等の項目見直しを行いたい。現在は小さなカテゴリから構成されるので、使いづらい。より上位の領域を設定し、会員情報の管理や活用のしやすさを向上させる。暫定的に5つの領域を検討している。5つの領域でいいのかどうか。下位カテゴリを設けるのか、自由記述にするのか、会員の地区

研究会活動活性化のために、会員の地区をメインとサブの2ヶ所を登録する形にしてはどうか、主に使用する研究方法や研究対象とする地域についても加える、会員情報に researchmap 等へのリンク URL 記入欄を追加する、など。

→見直しは承認された。地区の選択、researchmap 等の URL の記入欄、研究方法、研究対象地域の追加を決定。地区選択は、「メイン」を所属機関の所在地住所に基づき選んでもらい、サブは希望地区を選択するようにする。領域については項目数、内容を含め、委員会で継続して議論する。

* 審議事項以外のやり取り

- 学会誌のページのリニューアル：学会誌の説明＋最新巻目次＋J-Stage へのリンクを追加する。投稿にあたってのダウンロード資料をパッケージ化したようなページとしたい。リンクを活用して学会誌の販促もしていきたい。
- メーリングリストのリニューアル：admin、理事会、執行部の3つのメーリングリスト以外を廃止して整理する。メーリングリストに添付ファイルをつけられるようにするという案については、追加費用が高額のため追加はしないこととした。

2) 会費徴収委託

- 会費徴収をこれまでは業者に頼んでお願いしてきたが、ウェブ化していきたい。
→メリットの例としては、会員がオンラインでクレジットカード等を使って会費を納入でき、領収書も自分でダウンロードできるようになる。
→ウェブ化することによって、従来かかっていた郵送費がどのくらい節

約できるのか、といったことも検討が必要。その際、システム買取か契約かによっても金額が違ってくるので要検討。

→基本的には承認の方向で、見積もりを取って進める。他学会で使用しているもので良いもの（システム）があれば、事務局長・石井先生まで情報共有。

3) 地区研究会連絡委員会設置について

- 地区研究会活動の活性化、会員同士のつながり強化、地区から学会を盛り上げを目的として、地区研究会連絡委員会の設置をしたい。
- 具体的な活動としては、地区研究会委員長同士の情報共有、地区のなかでの人材発掘などを予定。全国大会にシンポジウムができるような活動へと育てていきたい。
- 地区研究会委員の運営ノウハウの共有もできればありがたい（新規委員に運営ノウハウの引き継ぎがない場合もある）
→委員会の設置が承認された。委員長は、小林浩明先生に決定した。年度内の委員会開催については、小林先生に日程を調整していただく。

4) その他

なし

*2021年度第3回理事会は、2021年10月16日に開催予定。開催場所はオンライン（zoom ミーティング）を予定。年次大会とは別日程で予定している。

以上